

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

市内 10 か所に防災用屋外スピーカーを設置

○防災行政無線とは？

→市町村が地域住民に対して災害情報などを一斉に伝えるための無線放送設備のこと。本市においては、災害時等の情報伝達手段の多重化・多様化のため、土砂災害警戒区域を含む市内 10 か所に屋外スピーカーを設置しました。



○どんな時に使用するの？

→①災害に関する情報の放送

- ・台風・大雨や地震発生時における避難所開設情報
- ・気象警報(大雨警報・土砂災害警戒情報等)

②国民保護情報の放送

- ・弾道ミサイル情報(全国瞬時警報システム(Jアラート))と連動

○目的は？

→住民の生命や身体を守るため、災害時の避難情報等を一斉・即時に伝えること(屋内・屋外問わず)。



～設置場所～

市役所本庁・南部公民館・昭和公民館・治道地区公民館・片桐地区公民館・平和地区公民館・矢田コミュニティ会館・矢田南小学校・矢田サロン会館(旧矢田山保育園)・北矢田スポーツ会館

※令和 8 年 4 月 1 日(水)から、毎日 17 時にスピーカーから約 30 秒のメロディチャイムが流れます。スピーカー機器等の正常作動確認も兼ねておりますので、ご理解宜しくお願い致します。

あの日を忘れない。いまこそ見直そう！

2011年3月11日14時46分に発生したマグニチュード9.0の巨大地震。東日本各地で大きな揺れを観測し、津波や火災の発生により甚大な被害を受けました。今年は2026年であり、東日本大震災の発災から15年の節目になります。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。今一度「自助」と「共助」について考えてみませんか？

○ まずは自分と家族を守る「自助」

・家具の固定はお済みですか？

寝室や子供部屋から優先して固定しましょう。

・「ローリングストック」の実践

普段食べているレトルト食品や缶詰を多めに買い置きし、古いものから食べて買い足す方法なら、無理なく備蓄が続けられます。



○ 地域で助け合う「共助」

・「向こう三軒両隣」の挨拶から

日頃の挨拶が、災害時のスムーズな安否確認や救助活動につながります。

・配慮が必要な方への声かけ

高齢の方や小さなお子さんがいる家庭など、手助けが必要な方が近くにいないか、日頃から気にかけておきましょう。

災害への備えに「早すぎる」ということはありません。

→東日本大震災の記憶を胸に、今日できることから一つずつ始めていきましょう。

自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。災害対策課までご相談ください。

このニュースは、災害対策課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館、社会福社会館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます。

[大和郡山防災ニュース](#) [🔍](#) [検索](#)

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください。

[大和郡山市消防団へようこそ](#) [🔍](#) [検索](#)